

取材したイベント「マル勝まつり&運動会だヨ！全員集合」、「イルミネーションの設置作業」

郷づくりの取材レポート

私たちは今年度、勝浦地域郷づくり推進協議会の「マル勝まつり&運動会だヨ！全員集合の運営」及び「マル勝イルミネーションの設置作業」に携わらせていただきました。今回は、この2つのイベントで感じたことについて伝えたいと思います。

10月の秋晴れの下、勝浦小学校のグラウンドで開催された「マル勝まつり&運動会だヨ！全員集合」は、地域と小学校合同文化祭「マル勝まつり」と同じく地域と小学校の合同運動会「勝浦大運動会」が、新型コロナウイルスの影響により併せて開催されたものです。私たち職員は、司会・進行や競技の運営、景品の抽選・受け渡しなど全般を担当させていただきました。勝浦小学校の児童たちをはじめ、地域の皆様が非常に楽しみにしているイベントということもあり、運営スタッフ、中学生ボランティア、学校関係者など多くの方々が役割を全うし、地域全体で楽しむことのできる運動会だと感じました。

12月の「マル勝イルミネーション設置作業」では、勝浦郷づくり交流センター駐車場の植込みや勝浦小学校運動場との境界フェンスを利用し、美しいナイアガラや光のトンネル、巨大なクリスマスツリーなどを模したイルミネーションを、勝浦地域の方々と共に作り上げました。コロナ禍で人と人との繋がり奪われる中、勝浦の夜を照らすイルミネーションの数々は、見る人たちの心も明るく照らしてくれるのではないかと思います。

これらイベントに参加する中で、私たちが一番感じたことは、地域の方々が大切にしている勝浦への想いの強さです。コロナ禍という状況もあり、昨今ではご近所付き合いが希薄になりがちですが、勝浦では地域のつながりを強く感じるとともに、とてもあたたかくて素敵な「ふるさと」だと身をもって実感することができました。市職員として、たくさんの学びやつながりを得ることができたことに感謝し、今後も勝浦地域に寄り添っていけたら、と思います。

取材や活動に参加した市職員の感想

- 普段参加できない地域行事に参加できて色々学ぶことができました。
- 郷づくり地域の方々と非常に密接に接することができ、非常に貴重な体験ができたと思います。
- 市役所職員という立場に留まらず、一社会人として貴重な経験ができたと思います。
- 勝浦という地域のあたたかさ、人々のつながりを身をもって知ることができました。

● 「マル勝まつり&運動会だヨ! 全員集合」



● 「イルミネーションの設置作業」



● 「イルミネーションの点灯状況」

